

国際レベルに対応する システムインテグレーター 東通産業のバリュー

写真①を見て、ピンときた人は日本の放送機器メーカーに詳しいであろう。写真の左右に立つ人物を知る人は元の社名に疑問を感じ



①左が東通産業の社外取締役である元ソニー・大木充氏、右が関西代表の元パナソニック・下水流正雄氏で、中央が代表取締役社長の大賀昭雄氏

じるのではないか。これこそが、中央の大賀昭雄氏が代表取締役社長を務める東通産業という会社のユニークさを示すものだろう。

(レポート・写真:吉井 勇・本誌編集部)

日本の戦後における産業復興に詳しい人は「東通産業」という社名から「ソニー」を思い浮かべるのではないかと。ソニーは前の社名が「東京通信工業」だったからだ。東通産業の代表取締役社長・大賀氏の説明によれば、「父で前社長の戸須昭策が会社を昭和33(1958)年に設立した際、取引のあったソニーに、旧名から『東通』をいただきたいと申し入れた」とのこと。また、大賀社長は養父であるソニーの元社長・大賀典雄氏の苗字を継いだ深い関係もある。

東通産業のスタートは当時人気のラジオを共済組合に卸した民生品の事業で、その後、昭和47(1972)年からソニー開発の電卓マシンSOBAXやカラービデオプロジェクトシステムを扱い、ソニーの総合特約店として事業の柱を作り上げてきた。

「当時、全国の学校に導入が広がったLL教室(語学実習室)に注目しました。録音テープを使う最先端の教育システムでしたが、空き時間の多さが悩みだと聞き、プロジェクターを導入して視聴覚教室への拡張を提案しました」(大賀社長)。さらにプロジェクター機能として高輝度化や小型化をソニーに提案することなどを通して文教市場の信頼を得ていった。そうした信頼から社外取締役にプロAV事業に詳しい元ソニーの大木氏を迎えたのである。

また、企業における会議室の映像音響システムのインテグレーターとしても実績を重ねる。東通産業はAV機器とICT機器の採用では、ソニーやパナソニック、NEC、エプソン、マイクロソフト、Google、Cisco、BOSEなど200社以上に及び、メーカーにこだわらずに強力なデジタルソリュー



②文教向けAV&ICTソリューション構築を担当する左から取締役・金原龍司氏、カスタマーサクセス営業部部長・檜皮武人氏、武蔵野支店・芳賀隆之氏

ションを提案する。その代表例の一つが、歴史的な建造

物でもある日本を代表する都市銀行の本社の約90室の大会議室への映像音響システムや遠隔システムの導入である。機器はパナソニック製を活用。これが縁となり、元パナソニックの特機AVを担当した下水流氏を関西代表に迎えた。企業内システムで重要なセキュリティについて下水流氏は、「技術面の対応はもちろんですが、AVサポートの人員の守秘義務を徹底することが必要です。その点で東通産業は堅実に取り組んでいます」と言う。

最新の文教事例を大賀社長に紹介してもらい担当者を取材した。中央大学法学部の新しい茗荷谷キャンパス(東京都文京区)と駿河台の中大法科大学院(ロースクール)に取り組んだ取締役・金原龍司氏、カスタマーサクセス営業部部長・檜皮武人氏、武蔵野支店・芳賀隆之氏である。芳賀氏は「2023年4月に開設された茗荷谷キャンパスは、学生への情報連絡をサインージも含めて緊密にできる仕組みや、小、中、大、特大の4つの教室に合わせた映像音響システムの構築、さらに他のキャンパスともネットワークするWebexシステムでの連携を実現しました」と説明。金原取締役は「コロナを経験したことで教室、オンライン、ハイブリッドの授業形式にスムーズに対応することはもちろん、先生方が用意する素材データの多様なフォーマットにも対応し、しかもシンプルな操作性を可能にしました」と、独自のソフトウェア開発で対応したと話す。

さらに東通産業は、システムインテグレーターとして新たな一歩を踏み出した。2019年に世界で最も古い最大のAV/ITインテグレーター組織「PSNI Global Alliance」に加盟し、グローバルプロバイダーとしての地位を得たのである。それによりGoogleなどの外資系の日本オフィスのシステムソリューション構築事業を急成長させている。檜皮営業部部長は「AVシステム機器の扱いからネットワーク化が広がり、柔軟なシステム対応が求められるようになり、建築分野とシステム担当という以前の切り分けではカバーできないゾーンへの対応が必要となってきたように感じています」と話す。

ソニーの前身の社名を由来とする東通産業はシステムインテグレーターの世界レベルを追求する。大賀社長は「ユーザーを大事に考え、コミュニケーションを第一にする企業姿勢は変わらず」と話し、このバリューを象徴するユニークな拠点が大手町支店だという。次の取材はそこだ。